

ひなん ころえ すいがい  
**避難の心得【水害】**

あんぜん ひなんけいろ かくにん  
**安全な避難経路の確認**

避難所までの経路はあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



ていきてき そうじ  
**定期的な掃除**

側溝や集水桝（雨水が流れる溝）のゴミや落ち葉は浸水の原因になるので、定期的に掃除しましょう。



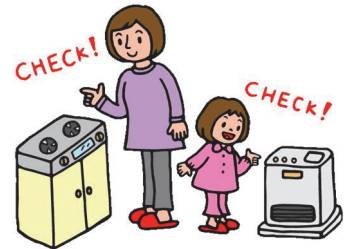
ひなんじ うご ふくそう  
**避難時は動きやすい服装**

持ち物はリュックに入れ、両手が自由に使えるようにしましょう。長靴でなく運動靴にしましょう。



とじま ひ しまつ  
**戸締りや火の始末**

火元の点検、電気ブレーカを切り、戸締りをしましょう。



とほ ひなん  
**徒歩で避難**

車での避難は渋滞を招き、緊急車両（救急車、消防車など）の妨げになるので、特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



ちいき たす あ  
**地域での助け合い**

近所で声をかけあい、可能な範囲で協力しましょう。普段から気配りをしましょう。



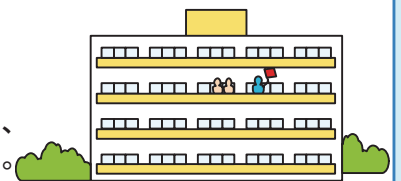
あしもと かくにん  
**足元の確認**

冠水した（水があふれかえった）道路は足元が見えないため危険です。傘や長い棒で足元を確認しながら進みましょう。



とどまることもせんたくし  
**とどまることも選択肢**

逃げ遅れたら、近くの頑丈な（こわれにくい）建物のより高い場所に避難して、救助を待ちましょう。



あめ ふ かた つよ  
**雨の降り方と強さ**

つよ あめ  
**強い雨**



1時間に20～30mm未満

傘をさしてもぬれる。車のワイパーを早くしても見づらい。

はげ あめ  
**激しい雨**



1時間に30～50mm未満

道路が川ようになる。歩くのは危険。

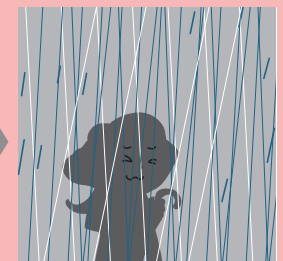
ひじょう はげ あめ  
**非常に激しい雨**



1時間に50～80mm未満

傘はまったく役に立たなくなる。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。経験したことがない大雨。

もうれつ あめ  
**猛烈な雨**



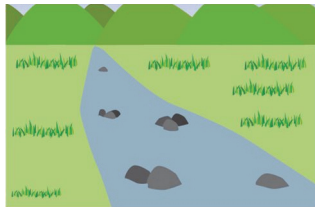
1時間に80mm以上

どしゃさいがい きけんしんごう  
**土砂災害の危険信号**

土砂災害の危険信号（前兆）に気付いた場合は、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。

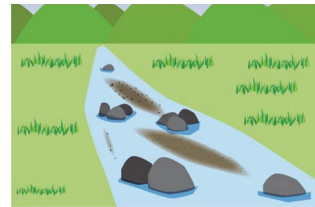
かわ い どみず にご  
**川や井戸水が濁った**

川が濁ったり、普段澄んでいる井戸水が濁ったら、土砂災害が原因かもしれません。



すい さ  
**水位が下がった**

雨が降り続けているのに川の水位が下がったら、上流で水がせき止められているかもしれません。



きれつ はし  
**亀裂が走った**

山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走るとがけ崩れの危険性があります。



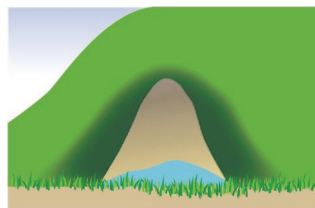
いし お  
**石が落ちてきた**

山の斜面から石が転がり落ちてきたら、土砂災害の前兆かもしれません。



みず と ふ  
**わき水が止まった、増えた**

わき水が止まったり、増えたりすると、地下水の流れが変わり、地すべりが生じるかもしれません。



じな  
**地鳴りがする**

地鳴りが聞こえたら、土砂災害の危険性があります。



かつよう  
**WEBマップの活用**

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）は鳥取県のホームページで確認できます。

危険度	土砂災害発生の恐れ	状況で土砂災害発生危険基準を超過
極めて危険	土砂災害発生の恐れ	状況で土砂災害発生危険基準を超過
非常に危険	避難開始の目安	予報で土砂災害発生危険基準を超過
警戒	避難準備の目安	実況または予報で大雨警報発表基準の土壌雨量指数を超過
注意	今後の雨量に注意	実況または予報で大雨注意発表基準の土壌雨量指数を超過

**「とっとりWebマップ」**

<https://www2.wagmap.jp/pref-tottori/top/index.asp>



**「鳥取県土砂災害警戒情報システム」**

<https://d-keikai.sabo-tottori.jp/Top.aspx>

ひなん こころえ じしん  
**避難の心得【地震】**

ひ つか  
**火を使っているとき**

身の安全を確保して様子を見て火を消し、台所から離れましょう。



ね  
**寝ているとき**

布団や枕で頭を守りましょう。非常持出袋を近くに置いておきましょう。



がっこう しょくば  
**学校や職場にいるとき**

机の下にもぐり頭を守りましょう。先生や上長の指示に従い避難しましょう。



うんてん  
**運転しているとき**

車を左に寄せ、ハザードランプを点灯させましょう。避難するときは、ロックせず、キーを指したままにしましょう。



か もの  
**買い物をしているとき**

棚から離れ、落下物から身を守りましょう。店員の指示に従って避難しましょう。



がけ かいがん ふ きん  
**崖や海岸付近にいるとき**

がけ崩れや津波の危険性があるため避難しましょう。



しん ど かいきゆう ひと たいかん  
**震度階級と人の体感**

日本では、主に気象庁が中心となって定める震度階級（揺れの強さによる分類）があります。地震発生直後に発信されるので、取るべき行動の基準としましょう。

震度 4	歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 眠っている人のほとんどが目覚めます。
震度 5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
震度 5 強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
震度 6 弱	立っていることが困難になる。 (平成28年鳥取県中部地震クラス)
震度 6 強	立っていることができず、はわないと動くことができない。 (平成12年 鳥取県西部地震クラス)
震度 7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。 飛ばされることもある。(平成23年東日本大震災クラス)

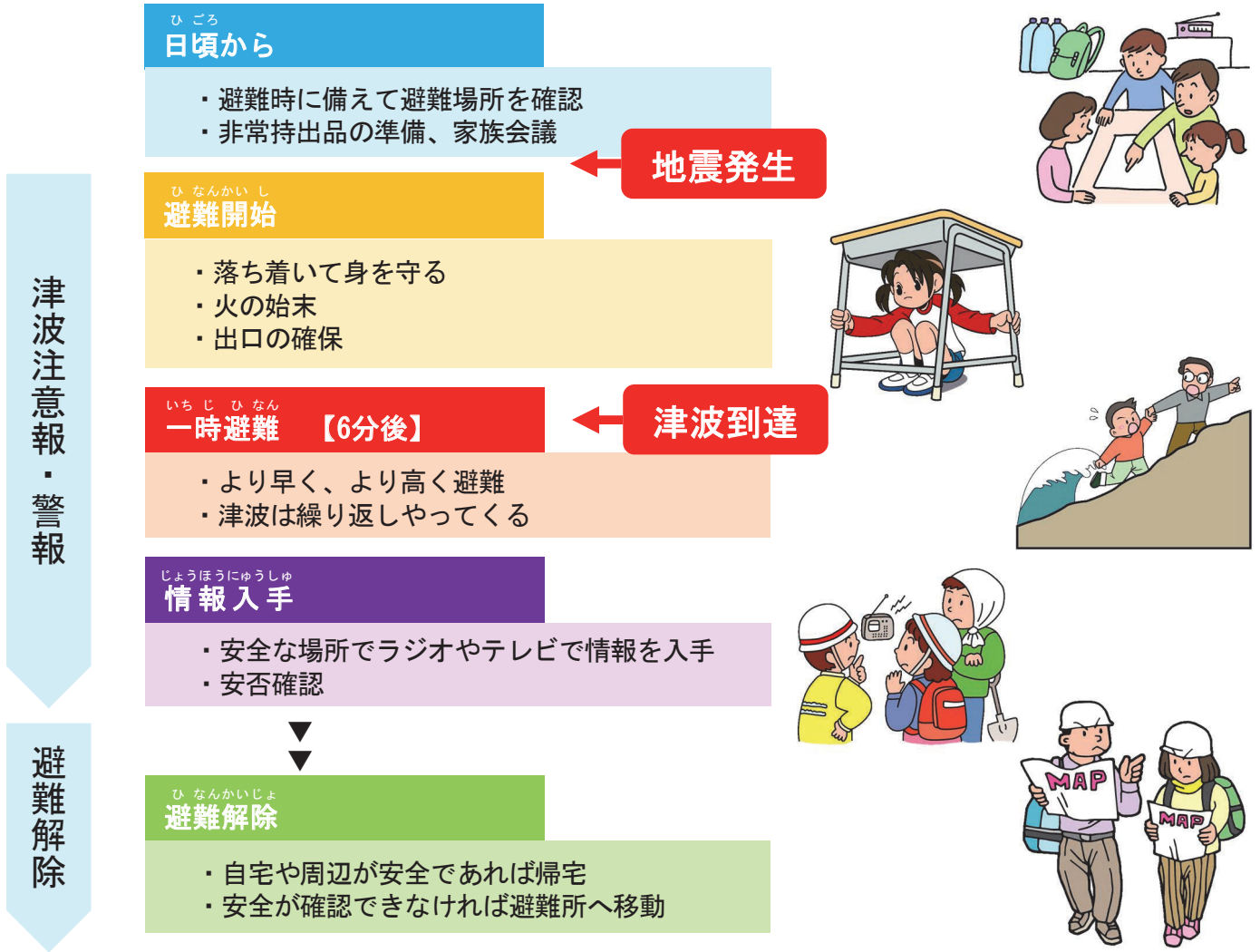


耐震性が高い 耐震性が低い

じしん つなみはっせいじ こうどう  
**地震・津波発生時の行動**

地震が発生してから、津波の海面変動が30cm（足元をすくわれる深さ）に到達するまでに最速6分程度が想定されます。地震から身を守ったのち、速やかに高い場所に避難しましょう。

津波の規模	断層	
	佐渡島北方沖	鳥取沖F55
30cm海面変動の到達時間	87分	6分
最大津波高	6.6m	3.1m
最大津波高到達時間	160分	18分



つなみひなんたいしよくいき  
**津波避難対象区域**

津波避難対象区域とは、津波による浸水の注意を喚起するために、災害特性・地形・居住状況などを考慮して、浸水予測区域の外側に余裕範囲（バッファゾーン）を設けた区域です。津波避難対象区域で地震にあったら、すぐ避難しましょう。



バッファゾーンの概念図

